



大屋町中間の国産ウイスキー工場 **(株)ウイズワン養父蒸溜所Yabu Cooperage(樽工房)始動** **報道機関向け見学会開催**

2023年に国産ウイスキーの製造を開始した「株式会社ウイズワン養父蒸溜所」(養父市大屋町中間)が、2025年12月にYabu Cooperage(樽工房)を蒸溜所施設内に設立。2026年1月よりウイスキー熟成に使用する「樽」の本格的なリペア(修理)・リメイク(改造)をスタートしました。

全国に100以上のクラフトウイスキー蒸溜所がある中で、ウイスキー製造所と樽工房を同じ敷地内に併設しているのは日本国内で4カ所目となります。

樽工房の運営開始にあたり、報道機関を対象とした樽工房の見学会を2026年2月12日(木)14時から開催します。

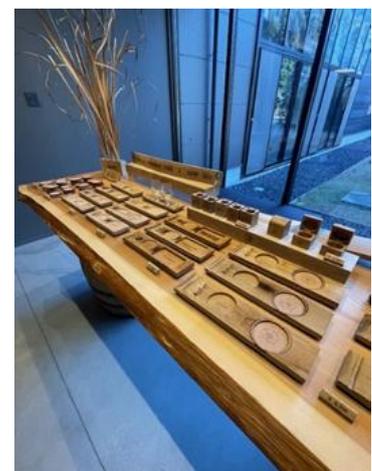
同社では今後、樽の修理・改造工程などの一般見学も検討しています。



修理用の機器



修理作業



樽の材料を活用した
オリジナルグッズ

酒卸売業等を営む株式会社ウイズワン(2001年創業 本社:大阪市 代表:澤田 宗士)は、国産ウイスキーの需要の高まりを受け、新規事業として、2021年に養父市大屋町中間にウイスキー蒸溜所を新設すると発表。養父市企業等振興奨励制度を活用し、2022年4月に着工、2023年7月に「株式会社ウイズワン養父蒸溜所」が完成。同年9月に操業を開始しました。現在は、2026年の出荷開始に向けて、シングルモルトウイスキーの製造を進めています。

同社では海外から輸入した「樽」の修理を目的に、Cooperage(読み方:クーパレッジ、意味:樽工房)を2025年12月に設立。クーパレッジでは、同社だけでなく、他社からの樽修理も受け入れし、Cooper(読み方:クーパー、意味:樽職人)の育成を行います。

クーパレッジでは特殊機器や工具を使用し、「バーボンバレル」「ホグスヘッド」「ワイン樽」「シエリー樽」などのウイスキー樽をはじめ、「焼酎樽」「スピリッツ(ジン)樽」など多種多様な樽のリペア・リメイクを行います。

同クーパレッジでは自然環境への配慮(SDGs)として、使用できない「樽」の廃材を加工し、テイティングプレートやコースター、食器なども作成。樹齢80年から100年以上の木材を伐採して作られる「樽」を捨てないという意思で循環型社会へ貢献する取り組みとして行われます。

● 報道機関向け見学会

日時 2026年2月12日(木) 14時 ※要申込、電話またはメールでお申し込みください。

場所 (株)ウイズワン養父蒸溜所(養父市大屋町中間 844-1)

内容 工房内見学、樽修理の実演

※要申込。取材当日、悪天候による中止の場合は順延。前日正午までに判断。延期の場合は、申込時に入力された電話番号に連絡されます。

【問合せ】

株式会社ウイズワン 事業推進本部 酒類製造部

養父蒸溜所 Yabu Cooperage 担当者：山口 洋二郎

電話：090-1512-6633 メール：y-yamaguchi@with-one.net

【担当課】

産業環境部 商工観光課 課長：上村 圭 担当者：小谷 尚史

電話：079-664-0285